

# 斎藤茂吉記念館

Saito Mokichi Memorial Museum



## 利用のご案内

- 開館時間：9:00～17:00(入館受付:16:45まで)
- 休館日：毎週水曜日(祝日・休日の場合は翌日)  
年末年始(12月28日から翌年1月3日まで)・7月第2週の7日間(日曜日～土曜日)
- 入館料

	大人	学生(高・大学生)	小人(小・中学生)
個人	600円	300円	100円
団体	500円	250円	50円

※団体は10名様以上 / 身体障がい者等割引(団体料金適用)

- 音声ガイド(日本語)300円
- 館内外バリアフリー 車椅子貸出・多目的トイレ(オストメイト対応)有

## 交通のご案内

### ■ 周辺地図



## ■ 交通

### お車でお越しの方

- ・東北中央自動車道山形上山I.C.から車で上市市内(南陽・米沢)方面5分  
※無料駐車場有:普通車70台/大型車5台

### 電車でお越しの方

- ・JR奥羽本線「かみのやま温泉駅」下車 山形方面行バス10分「茂吉記念館前」下車徒歩5分・または「かみのやま温泉駅」よりタクシー10分
- ・JR奥羽本線「山形駅」下車(山交ビル角)から上山方面行バス30分「茂吉記念館前」下車徒歩5分・または「山形駅」よりタクシー20分
- ・JR奥羽本線「茂吉記念館前駅」下車 徒歩3分

## みゆき公園施設配置図



- 箱根山荘の勉強部屋(音声解説有)  
斎藤家別荘の離れとして、1939(昭和14)年に建てられた茂吉の書斎(1979年移築)

- 環翠亭  
1881(明治14)年に明治天皇が東北巡幸した際の小休所(1979年復元)

- 歌碑  
斎藤茂吉3基  
伊藤左千夫、島木赤彦、各1基建立



公益財団法人

# 斎藤茂吉記念館

〒999-3101 山形県上市市北町字弁天 1421  
TEL 023-672-7227 [代]  
FAX 023-672-2626  
URL <http://www.mokichi.or.jp>

## 斎藤茂吉略年譜 (年齢は満年齢)

- 明治15年 5月14日、山形県南村山郡金瓶(かなかめ)村(1882) (現、上市市金瓶)守谷家の三男として生まれる
- 29年[14歳] 8月上京、斎藤紀一方に寄寓、開成中学校第五級に編入学
- 35年[20歳] 第一高等学校第三部に入学
- 38年[23歳] 正岡子規遺稿『竹の里歌』を読み作歌の志をいだく
- 39年[24歳] 子規門の伊藤左千夫宅をはじめて訪問、歌誌『馬酔木(あしひ)』に歌が載る
- 41年[26歳] 歌誌『アララギ』創刊、茂吉の短歌23首が載る
- 43年[28歳] 東京帝国大学医科大学卒業
- 大正
- 2年[31歳] 第一歌集『赤光(しゃっこう)』出版
- 3年[32歳] 斎藤紀一の次女輝子と結婚
- 6年[35歳] 長崎医学専門学校教授に任ぜられ、長崎に赴任
- 10年[39歳] 歌集『あらたま』出版、精神病学を学ぶため海外留学(オーストリア・ドイツ)
- 14年[43歳] 帰国、前年末焼失した青山脳病院の再建に奔走する
- 15年[44歳] 『アララギ』の編集発行人となる
- 昭和
- 2年[45歳] 青山脳病院院長の職を継ぐ
- 9年[52歳] 蔵王山上に歌碑が建つ『柿本人麿』出版
- 15年[58歳] 『柿本人麿』の業績により帝国学士院賞を受ける
- 20年[63歳] 郷里金瓶に疎開
- 21年[64歳] 山形県大石田町に移る
- 22年[65歳] 東京都世田谷区代田に引きあげる
- 25年[68歳] 新宿区大京町の新居に移る
- 26年[69歳] 文化勲章を受ける
- 27年[70歳] 『斎藤茂吉全集』全56巻(岩波書店)出版
- 28年 (1953) 2月25日逝去、享年70歳9ヶ月 戒名「赤光院仁誓遊阿曉寂清居士」は生前自ら選ぶ



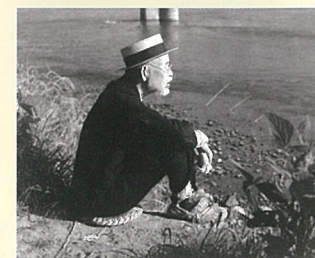
鳥絵「桃太郎」

書「寫生道」



歌集「赤光」初版

色紙「蔵王川」



大石田蔵王川畔にて

# 1階(1F)

## ■集會室

茂吉が死去するまでの晩年を過ごした居間兼寢室・書齋の再現とエピソードとともに一緒に暮らした家族を紹介。

## ■茂吉ライブラリー

年代・場所での茂吉の写真を検索できます。

## ■茂吉の人となり

「茂吉の生涯」「茂吉歌碑マップ」の詳細を検索できます。

## ■短歌とは/短歌全史



日本古来の歌(和歌)の中で最も代表的なもののひとつである短歌について紹介。

## ■常設展示室

### 茂吉世界へのいざない 1



映像で皆様を茂吉の世界へお迎えします。

### 茂吉・森羅万象 2

茂吉が訪れた「国内」「海外」「ふるさと」を写真とゆかりの品により紹介。

### 茂吉の生涯 3

金瓶村(現上山市)に生まれ、14歳で上京、医師のかたわら作歌を続けた生涯をたどります。

### 茂吉の作歌姿勢 4

正岡子規の「写生」論を発展させた茂吉の作歌姿勢を紹介。

### 茂吉交遊相関図 5



各時代ごと、影響を受け与えられた人びとを分野ごとに紹介。

### 医学者茂吉 6

欧州留学をはじめ医師としての業績などを紹介。

### 茂吉の書画 7

絵や習字が得意だった茂吉の生涯にわたる書画を紹介。

### 茂吉とふるさと山形・上山 8



故郷を大切にされた茂吉の帰郷時の作品とその様子を紹介。

### 茂吉の業績 9

帝国学士院賞受賞、文化勲章受章時の関連資料を紹介。

### 茂吉の交遊 10

敬愛した文人、切磋琢磨した歌人や画家など多彩な交遊を紹介。

### 茂吉の著書 11

膨大な著作より歌集ほか主要著書を紹介。

### 茂吉の肖像 12

八幡白帆画「斎藤茂吉翁」(山形県寄託品)

## ■キッズサロン



絵本、茂吉の短歌かるた・ジグソーパズルなど、お子さまと一緒に楽しみいただけます。

## ■斎藤茂吉短歌文学賞

斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール  
受賞者とその作品紹介、実施経緯の展示。

## ■茂吉短歌ポスト



通年作品を募集しています。お気軽にご投稿ください。

## 斎藤茂吉記念館

斎藤茂吉の生地山形県上山市金瓶の南の丘に、1968(昭和43)年9月開館しました。

(1989年増改築、2003年・2018年改修を実施)ここは、東に蔵王連峰を仰ぐ景勝地で、明治天皇が東北巡幸の際に休憩されたことからみゆき公園とよばれています。館内には、近代短歌史上に重要な位置を占める歌人で精神科医の斎藤茂吉が残した業績や生活を伝える資料を収蔵・展示しています。



# 地階(B1F)

## ■守谷夫妻記念室

茂吉の甥で記念館発展に尽力した守谷誠二郎・ふみを夫妻の記念室。

## ■映像展示室(40席)

生涯を概観する映像「斎藤茂吉の世界とその時代」を定期的上映(18分間)。



ホール・エレベーター